

那珂川だより

那珂川緊急治水対策プロジェクトに盛り込まれた河川対策の進捗やソフト対策の検討状況をお知らせします

令和6年10月
第 52号



ともに築こうまち・みらい

編集・発行
国土交通省 常陸河川国道事務所

工事の進捗状況 ～ R 5 那珂川左岸栄町地区外築堤護岸工事～

○R 5 那珂川左岸^{さかえちよう}栄町地区外築堤護岸工事では、ひたちなか市三反田^{みたんだ}地区と栄町地区において築堤工事と護岸工事を行っています。

○築堤はL型擁壁^{ようへき}をプレキャスト工法により施工しています。

○堤防や護岸を整備することで、那珂川の出水による洪水被害から宅地などを守ります。



築堤・護岸施工箇所
(ひたちなか市三反田地区)



プレキャスト工法とは？

この工事で使用されるL型擁壁は、あらかじめ工場で製造されたコンクリート部材を使っています。

このような施工手法をプレキャスト工法と呼び、建設現場での、省人化、工期短縮、安全性の向上、働き方改革への寄与などが期待されています。



若手技術者インタビュー／常陽建設（株）

○今回は、R 5 那珂川左岸栄町地区外築堤護岸工事を受注されている常陽建設（株）の若手技術者である^{むらの けいすけ}村野圭祐さんにお話をうかがいました。



建設業界に入ろうと思ったきっかけを教えてください。

祖父が建設業で働いており、土木工事を間近で見ることが多く地図に残る仕事に憧れを感じ建設業界に入りました。今後、経験を積んで祖父に追いつけるよう頑張ります。



若手技術者
^{むらの けいすけ}村野圭祐さん



那珂川の河川工事に携わってみて何か感じたことはありますか？

今回の工事はL型擁壁を設置する特殊堤防^{いせつ}工事を行っています。L型擁壁は、大型クレーンにより一個ずつ確認し敷設を行いました。とても大変でしたが敷設が終わったときはうれしく思いました。普段、盛土工事に携わっていることが多いのでその現場に適した工法が色々あると土木の奥深さを感じました。



完成に向けて一言

地域の皆様とのコミュニケーションを大切にし、工事については安全第一に完成まで一生懸命頑張ります。

◆令和6年度 建設現場見学会が行われました

- 10月3日に、茨城県建設業協会により「令和6年度 建設現場見学会」が開催されました。
- この見学会は、県内の高校生・専門学生・大学生を対象とし、建設産業の担い手確保の一環として産官学一体となって実施されております。
- 今回の見学会には、茨城県立海洋高等学校海洋産業科（ひたちなか市）の2年生25名が参加され、R4那珂川左岸小場地区周囲堤築堤工事の現場を見学されました。
- 常陸河川国道事務所からは、上流で行われる治水対策が下流の安全に役だっていることを知っていただく為、流域が一体となり治水対策を行う流域治水や、那珂川緊急治水対策プロジェクトについて説明を行いました。



当事務所職員による説明の様子

◆令和6年度 水生生物調査が行われました

- 常陸河川国道事務所では、久慈川と那珂川において「水生生物調査」を実施しています。
- これは国土交通省と環境省が共同で取組む「全国水生生物調査」の一環として行われる調査で、地域のみなさまのご協力をいただいております。
- この調査は、水質によって生息する生物が異なることを利用して、採取した生物の種類より、水質を4つのレベルで判定します。
- 今年度は7月30日に那珂川上流部で実施し、生物のすみやすさの面で2番目に評価の高い「ややきれいな水」と判定されました。



学生のみなさんの調査をする様子



ここから
見られます

国土交通省 水生生物調査

検索

◆建設フェスタ2024が開催されました

- 10月5日に笠松運動公園において、「建設フェスタ2024」が開催されました。当事務所からは、事業を紹介するパネル展示、クイズラリー、自然災害体験車の出展を行いました。
- 当日は雨の降る中、自然災害体験車には379名の方がお越しになり、土石流の恐ろしさを体験していただきました。



自然災害体験車ブースの様子



国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所
流域治水課(旧調査第一課)
TEL:029-240-4069

〒310-0851
茨城県水戸市千波町1962-2

プロジェクトに関するお問い合わせはこちらです



那珂川緊急治水対策プロジェクト

検索

▲ こちらのQRコードからもHPにアクセスできます。